



## 「学校教育目標」と「重点目標」

学校教育目標

**心豊かに かしこく たくましく**

重点目標

**持続可能な社会の創り手の育成**

### 豊かな人間性

- 他人を理解し、真心を持って接する。
- 奉仕することに喜びを感じ、公共物を大切にする。
- まわりに感謝し、それを伝える。

### 健康・体力

- 健康・安全に気を配り、体を鍛える。
- ルールを守り、規則正しい生活を送る。
- 最後まで仕事をやり遂げる。

### 資質・能力の育成

何ができるようになるか  
○学校教育の基本

何が身に付いたか  
○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができる。
- ②学習したこと体験したことを活かして次の問題発見・解決につなげることができる。

- ①他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを広げたり正確に伝えたりしている。
- ②今まで学習したこと体験したこととの相違点や類似点に気づき、次の問題発見・解決につなげている。

子供の実態

- 「自分を変えたい」という気持ちがある。
- 感謝の心や奉仕の心が育ちつつある。
- △他者との交流や社会体験が乏しい。
- △自分の考えを明確に表現する力が弱い

子供の発達をどのように支援するか  
○配慮を必要とする子供への指導

- ・カウンセリングマインドを活かし、年3回の教育相談週間の充実や日頃の教育相談の充実に努める。
- ・隔週の子ども支援部会を実施し職員間で情報共有を行い、支援策を見だし支援を行う。

めざす子供の姿

- あいさつがきちんとでき、人に対して優しく接することができる子
- 相手の話をしっかり聞き、自分の思いや考えを伝えられる子
- 汗を流して働き、目標をもって体を鍛えられる子
- 自らの学びを調整できる子

何を学ぶか  
○教育課程の編成

どのように学ぶか  
○教育課程の実態

- 少人数学級・異年齢交流活動や地域の特質を活かした教育課程
- ①当該学年相応の基礎学力の習得
  - ②主体的・対話的で深い学びに結びつく言語活動の充実
  - ③毎時間における振り返りの確実な実施
  - ④総合的な学習の時間を核とした海洋教育の実施  
(海洋教育のスローガン：『美らパトゥマ学習(美しい鳩間島をいつまでも)』)

- ①基礎学力の定着に向けた朝学習・朝読書の実施とぐんぐんタイムとリレーノートを活用した『自立した学習者』の育成
- ②ICTを効果的に活用した授業展開の工夫
- ③振り返りを意識した授業マネジメントと
- ④海洋教育の全校体制での実施

### 実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 校内研修の充実
- 少人数学級の特質を活かしたきめ細かな指導の充実
- 教育相談担当を核とした教育相談体制の充実

- 異学年交流・小中学校教員の相互乗り入れによる授業の実施
- 地域素材の教科化、地域人材の活用（海洋教育の充実）
- 家庭、寮監、地域との情報共有及び連携、協働

### 安心・安全を守る

- 学校安全全体計画に基づいた安全教育の充実
  - ・身のまわりの環境の中にある危険を予測し、的確な意思決定や行動選択ができる能力の育成
  - ・児童生徒等の安全を確保するための環境の整備

### 開かれた学校づくり

- 学校ホームページ、学校だより、学級だよりによる積極的な情報発信
- 地域素材を活かした学校づくり